

する數億噸の貧鐵を利用し得るのみならず製鐵資源に乏しき日本にとりて最も必要なる問題を解決せるものにて斯界に貢献する所實に大なりと謂はざるべからず。

以上同君苦心經營の寄與する所特に顯著なるに鑑み香村賞牌受領者たるの資格充分なるものと認む。(理由書朗讀)(拍手)。

香村賞牌受領者答辭

工學博士 梅根常三郎君

今回はからずも榮譽ある香村賞牌を不肖私を受くる事となりまして身に餘る光榮の至りであり、鞍山貧鐵鑛處理の問題は製鐵所創立以來の大問題でたまたま私は其當時の所員として任にあたり職として滿鐵總裁中村是公氏や製鐵所長井上匡四郎氏等の命令を受けて巨額の研究費と長年月の時日と部下多數の職員同僚の努力とに仍て先刻理由として會長の述べられた様に大正 13 年末に工業に移し得る迄に進めました。大正 15 年より選鑛工場を本式に運轉して今日の如きものとなつたものであります。私の處理方法は未だ完全無缺と云ふ状態ではなく今日尙研究は續けられて居りますが一方鑛鑛爐に必要せらるゝ燒結鑛 1,000 噸以上は毎日生産せねばならず相當に努力を要するものがあります。かゝる大事業が私一箇の力によつて成されたとは勿論申上られず多數の上司下僚の協力と云ふ可きで今日賞牌を受くる事は汗顔の至りである。此機會に於て私は鞍山貧鐵處理に關係ある多數諸君の功績をもたへたいと思ひます。前申上りました通り此貧鐵處理法は尙改良さる可き諸點がありますので此後は日本鐵鑛協會々長並に諸先輩方初め會員諸氏の御指導御鞭撻を受け一層改善せしめたいと思つて居ます。之れ獨り一會社の利益に留らず日本として重要問題であると思ふからであります。

今日の榮譽を賜つた日本鐵鋼協會會長閣下に深厚なる感謝を表すると共に、香村博士に對し滿腔の敬意を以て衷心謝意を表します。尙將來の覺悟を述べまして答辭と致します(拍手)。

閉會の辭

野田會長

(要旨) 今回講演大會を開催するに當つて多數の講演應募者諸君は率先して夫々重なる研究結果の發表を申出られた事は會として誠に慶賀の至りである。特に今回は見學旅行の關係で講演を一日間に限つたゝめ多數申込者には御氣の毒ながら事情を述べて諒解を乞ひ御斷りするに至つた事は會として遺憾とする所である。亦同時に研究の年と共に盛大に向ふ事は本邦斯界のため誠に祝福せざるを得ない本日講演下された諸君には何れも鐵鋼冶金學界並に業界各方面に代表的のもので本邦に於ける之等新傾向を示せるものである。此點に就て講演者各位に對し篤く敬意を表するものである。唯各位に對しては講演時間誠に僅少のため其蘊蓄さるる所を充分述べ得られざる點のあつた事は誠に御氣の毒である。本會の開催によつて新興滿洲に對し何等かの刺戟を與へ得たものと信じ會として意義深きものと思ふものである。尙明日以後各所の見學により御互に滿洲の認識を深め一層日滿兩國斯界のため努力せんと心掛けたい。之れを以て講演會を終ります(拍手)。

懇親晚餐會

ヤマトホテル大食堂に裝飾されたる圓卓 11 を配置し合計 90 名の大宴會を開催するに至つた。午後 6 時ホテル大サロン入口に受付を開始し來賓の受付及び會員の食卓番號券を配布した。來賓氏名。

滿鐵副總裁八田嘉明氏、滿洲技術協會會長貝瀨謙吾氏、滿洲化學工業會社常務取締役深水尋氏、大連市助役岡野勇氏、同収入役大岩爲吉氏、大連新聞社長寶性確成氏、沙河口鐵道工場長杉浦熊男氏、會員中の招待者として野田會長、伍堂社長、鮫島總辦、梅根常三郎氏以下講演者 12 名、尙大會の直接事務に従ひ多大の努力を續け來れる數氏をも招待者とし、會員を合計して 90 名となつた。サロンに待合せた一同は歡談と共に先づカクテルを乾杯し食卓に就いた。席定まるや野田會長より一場の挨拶をなし來賓の健康を祝して乾杯され、八田副總裁は來賓を代表して謝辭を述べられ大會の成效を祝福し乾杯された。開宴と共に各卓は談笑裡に興味湧き互に舊交を温め新知を求め和氣霽々として大ホールに充滿された。一同十二分の歡を盡して午後 8 時散解した。

野田會長挨拶要旨

今回日本鐵鋼協會は滿洲冶金學會と聯合して滿洲に於て大會を開催する事となり其行事中主要地たる大連市に於て通俗講演會及び學術講演會を催し、又旅順見學及び大連工場見學等を行ふ事となつて居る。大會行事中此處に第一、二日を滞りなく過し明日は滿鐵關係を初め多數會社工場を見學する筈である。第四日以後第 14 日に涉り大連以北を見學の豫定となつて居る。來賓の諸氏には夫々御關係業務に就き本會は多大の御援助を御願申上し處夫々御快諾下さつた事を深く感謝致す次第である。諸方面の御後援によつて會の目的を達し得る事は誠に喜ばしき至りで感謝にたへない。聊か謝禮の微意を表するため御招待申したる所御繰合せ御出席下されたる事を深く御禮申上る。粗末たる設備で汗顔の至りであるがゆるゆる御歡談下さる事を御願申す。此處に來賓各位の御健康を祝するため乾杯致したい。(拍手)

八田副總裁の挨拶要旨

日本鐵鋼協會及び滿洲冶金學會の聯合による講演大會を滿洲に開催するゝ事となり當市に於て講演會及び工場視察を行はるゝに就き我々多數を本日御招待に預り誠に感謝にたへない。此兩學會の企圖さるゝ所は遠大のものと思はるゝが我々は今回の行事を承り其目的さるゝ所が明瞭に理解さるゝ事となつた。此會合により内地より多數の専門諸大家が來滿されて親しく實狀を視られ独自の御意見を御立て下さる事は直に滿洲産業の開發に貢献する所尠なからぬと思はるゝ。何卒充分の御視察により我々在住者を直接間接御指導されん事を切に御願申す。此處に御禮と共に會員各位の健康を祝するため乾杯致します(拍手)。

第 3 日 (10 月 9 日火曜、快晴) 大連市内工場見學

第一班 世話係、萩原委員、原良彦氏、上島大助氏。参加者、岩瀨評議員を團長とし以下會員 35 名。午前 8 時 30 分ヤマトホテル前に集合し自動車 11 臺に分乗し所定の見學箇所を巡歴した。

滿蒙資源館 (午前 8—40 より同 9—30)。滿蒙資源を一目瞭然に把握するに最も適當せる參考品陳列館であるため滿蒙資源の豫備知識を得るに充分である。滿鐵沿線及び奥地の視察者は本館を最初に觀覽するの必要がある。館内には鑛産、林産、農産、畜産、水産、工業に關する多數の標本を陳列され、又鐵道、港灣に關する模型、圖表等遺憾なく掲げられて居る。就中撫順炭坑露天掘採炭法及び鞍山に於ける昭和製鋼所貧鐵處理に關する模型等は會員の注意を惹ける事著しかつた。